

はくぶつかんネット

第24号

～ GINOWAN MUSEUM ～

2005年

10～12月

3ヶ月に 1回発行

(次号は1月15日)

洞窟探検中



▲ 昨年度の見学会の様子

★ 平成17年度 第2回 講演会 ★

宜野湾市の洞窟めぐり No. 5

～ 洞窟と人間との関わり ～

◆ 講師：新垣 義夫 (普天満宮宮司・宜野湾市立博物館協議会会長)

◆ 見学期日：2005年 11月5日(土)

午後1時～午後5時

※雨天の際には、11月12日(土)に延期となります。

但し、延期日の12日も雨天になった場合は、市立博物館で講演会になります。

◆ 見学場所：普天満宮洞穴(普天間) → クマイーアブ(宜野湾) →

チヂフチャーガマ(浦添市) → マヤーガマ(大山)

※市立博物館に集合して、バスにて移動します。解散は市立博物館。



博物館 イメージキャラクター

察度くん と 天女ちゃん

※ 要申し込み

◆ 定員：20名(小学4年生以上)

※小学4～6年生は親子1組で申し込んでください。

人数に限りがあるため、受付は1家族2名までとなります。

洞窟内に実際に入るので、体力に自信のない方はご遠慮ください。

◆ 申し込み期間

2005年 10月8日(土)～10月22日(土) 時間は午前9時～午後5時

※申込期間中の火曜日・祝祭日は、受付できません。

※申し込み多数の場合は抽選。その際には、市内在住・在勤・在学者で、初参加者が優先となります。ご了承ください。

★当日は、保険料150円・汚れてもよく動きやすい服装(長そで・長ズボンなど)・

帽子(できればヘルメット)・軍手・すべりにくく濡れてもいい靴(雨靴など)・懐中電灯・水筒・虫除け(スプレーなど)・雨具持参でご参加ください。

◎ 平成17年度 企画展の報告 ◎

「じの～んの綱引き」展を開催しました

8月14日(日)～9月4日(日)まで、企画展「^{じの～ん} (宜野湾)の綱引き ^{ちなひち}♪皆々一緒に ^{みなみなすりとしてい}イヤ～サーサーサー♪」を開催しました。今年の行事で登場した綱片側を丸ごと展示し、実際の行事で使用している道具や鳴り物・衣装、今年の行事で収集した綱作りの実物資料・写真、博物館所蔵の綱引き模型などを520名の方々に観て頂きました。また8月28日(日)には、「じの～んの綱引きについて」のトークセッションも行い、綱引き関係者の具体的な話が聞けました。

ところ狭しの資料を前に「上等です。ワラの匂いに臨場感があふれています。」、「本当の綱引きの中に入ったみたいでびっくりしました。」、「綱を作っていく課程がよく分かって楽しかった。」、「綱引きだけでいろいろ展示資料があるものだと驚いた。」等々、市外の方はもちろん市内の方も「意外と知らなかった」内容で、皆さんとても満足していました。

「綱引き一つにも伝統があり、地元の伝統を少しでも数多く残していけたらいいなあと思います。」との見学者からの感想のように、皆さんもぜひ綱引きと、それから綱作りにも参加してみてください。綱を引くだけが綱引きじゃなかったんだとスゴク感動しますよ！



← 綱を丸ごと展示！！
実物はさすがに迫力がありました



▲ トークセッションの会場

「変化する伝統」について、皆さん熱心に聞いています

◎ 平成17年度 その他の報告 ◎

職場体験学習 & 学芸員実習

(インターンシップ)

～ 博物館ではどんな仕事をしているんだろう？

当館では、毎年3～5校の職場体験学習・実習の要請がありますが、今年度は9月の時点で6校の職場体験学習・実習を受け入れています。

6月には真志喜中学校(男子3名)と宜野湾中学校(男子2名・女子1名)、7月には嘉数中学校(男子2名・女子3名)、北谷高校(女子5名)、コザ高校(男子4名・女子1名)の生徒が職場体験学習(インターンシップ)に来ました。8月には学芸員実習生として約10日間、沖縄県立芸術大学(男性1名・女性2名)の学生を受け入れました。また琉球大学の学生が、社会教育主事の資格を取るために実習に訪れました。

内容としては、学芸員の仕事を中心に(展示室の案内、資料採取、台帳記入、展示物・資料整理、企画考案等)体験してもらいましたが、「思っていたよりもきつかった」、「暇そうだと思っていたけど、全然そうじゃなかった」等の声がありました。

今回の体験を通して、労働することの楽しさ・厳しさを少しでも感じてもらえたら良いなと思い、今後、何らかの形で活かして欲しいと思います。



▲ 職場体験学習での発表の様子

緊張感が漂っていました



▲ 学芸員実習での一コマ

◎ 平成17年度 文化財図画作品展の報告 ◎

■ 第14回 「宜野湾市の文化財図画作品展」

< 見て・描いて・歴史に触れようっ! >

市立博物館では、今年も「第14回 宜野湾市の文化財図画作品展」を9月25日(日)～10月9日(日)までの約2週間開催しました。これは、市内在住の小中学校の生徒から、市内にある有形・無形の文化財や、古い市内の風景・風俗を題材にした図画を描いてもらい、そこから自分の住んでいる宜野湾市にはどのような文化財があるのか、どういった歴史や文化であったのかを実際に見て・感じて・知ってもらうことを目的としています。

今年も生徒達に夏休みを利用して描いてもらい、9月7日(水)に各小中学校の図工・美術担当の先生方に審査してもらい、各賞を選出しました。今年の出展数は164点で、普天満宮や森の川、喜友名泉、我如古ヒージャーガー、喜友名の石獅子、綱引きなど毎年対象にされる文化財の作品の他に、今年は大山のターンム畑や闘牛などの作品も見られました。

その中から教育長賞に輝いたのは、小学校中学年(3・4年生)の部では浦崎翔也くん(大山小学校)、小学校高学年(5・6年生)の部では山城虎次郎くん(宜野湾小学校)、中学校の部では高江洲麻利子さん(真志喜中学校)の3人でした。翔也くんの作品は、作品から綱引きの時のハヤシや太鼓や鉦の音が聞こえてくる、楽しそうな綱引きの様子が伝わってくる作品で、虎次郎くんの作品は、ヒージャーガーで洗濯をする女性が描かれており、現在でも実際に洗濯をする女性がいるような錯覚に襲われる様なリアルな作品です。麻利子さんの作品は、多々ある森の川を対象にした作品の中から選ばれただけあって、水の流れる音が聞こえてきそうな繊細な作品でした。

その他、個々様々な表現で描かれた作品がたくさんあり、同じ対象物を描いた作品でも、色の使い方や見る角度が違ったりと、全く飽きない作品展となりました。宜野湾市内にはたくさんの文化財があちらこちらに点在しています。今回の作品展を機に、市内文化財に興味を持ち、自分の住んでいる地域の歴史を知ってもらえたらと思います。

★ 表彰式の様子 ★

小学校中学年の部 <教育長賞>



浦崎 翔也 (大山小学校4年生) 題名: 真志喜大綱引き



小学校高学年の部 <教育長賞>

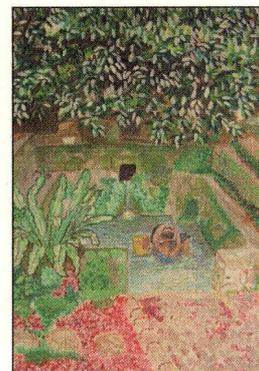
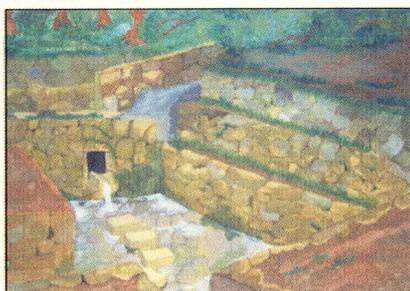


山城 虎次郎 (宜野湾小学校5年生)
題名: 我如古ヒージャーガー

中学校の部 <教育長賞>



高江洲 麻利子 (真志喜中学校3年生) 題名: 森の川



★ 宜野湾市の洞窟について ★



今年も「宜野湾市の洞窟めぐり」の季節がやってきました。知らない人もいると思うので、少しでも内容を紹介します。宜野湾市立博物館で毎年継続で行っている見学会で、実際に市内にある洞窟内に入って見学します。(今年の募集は、ネットの1ページに案内がありますので、ご参照ください！)

ではなぜ、市立博物館で洞窟めぐりを毎年行っているのかというと、宜野湾市は確認されている洞窟の数が県内でも多い地域になるので、市立博物館ではそれを市の特徴の一つと考えているからです。さて、これまでに宜野湾市にどのくらい洞窟が確認されているかということ、基地内にあるものや、破壊されたり出入口が埋められているものも含めて、なんと約130もの洞窟があるそうです。

宜野湾市にこれほど多くの洞窟がどうしてできたかということ、地層にそのわけがあります。市の地層の大部分は、琉球石灰岩と島尻層群でできています。琉球石灰岩は水を通しやすく、水に溶けやすい性質を持っており、その下にある島尻層群は水を通さない性質なので、降った雨は琉球石灰岩に浸透し溶かしていき、地下に空洞を作るのです。それが洞窟となっているわけです。

洞窟がたくさん確認されているとはいえ、市民が生活の中で洞窟の存在を身近に感じることはほとんどありません。市立博物館の見学会では、身近な洞窟を考えるいい機会になると思いますよ。(比嘉)

★ この後どうなるの？ ★

・・・ どの〜ん (宜野湾) の綱引き展より ・・・

綱の寸法(真志喜区の場合)は片側だけで長さ約30メートル、重さ約950キロ。展示室に運び入れる時は本当に大変でした。もともとはただの稲ワラである物がこんなにも大きくなるものかと身を持って体験しました。ちなみに大山区は片側だけで長さ約35~40メートル、重さ約2トンです。

ところで皆さん、綱引きが終わった後の綱はどうなるかご存じでしょうか？よく綱の一部分を切ってお守りや記念品として持ち帰ったことのある方もいらっしゃるかと思います。それでも微々たるもので、やっぱり綱はデンツと勇ましく残っています。

まず両綱は解体し、今年作った綱は風通しを良くし虫が付かないようにして、来年まで大事に保管します。去年から使用している綱は処分しますが、大山区の場合は処分する綱、すなわちワラはなんとしっくいに生まれ変わるのです。処分する綱(ワラ)は、綱引き終了後にしっくい屋が回収し、2日にまたがってしっくいにします。1日目、綱(ワラ)は機械で細かくされます。そのワラに石灰と水を機械で40分混ぜ、翌日まで約12時間ねかします。2日目、ミキサーでさらに細かくして水を少し混ぜ、袋詰めし製品として販売されます。

真志喜区の綱も平成14年までは大山区と同じ処分方法でしたが、今は公民館で綱をばらして希望者にあげるようになりました。希望者は畑や家庭菜園の堆肥として使っているようです。綱のその後は色々ありますが、とにかく捨てません。リサイクルです。それにしてもしっくいになるとは！

大山区、真志喜区ともに4・5年前までは全ての綱を処分し、次の年に一から全ての綱を作っていました。ところが人手不足などで祭りが変化しているのです。今は半分になりましたが、綱は毎年作ります。綱引き行事はぜひ綱作りから！(知念)

企画
展
会
場



← ワラくず、しっくい、
そしてしっくいシーサー

入館料免除・資料館外貸出の申請について

○ 申請する場合は、手続きが必要です。

博物館では入館料の免除申請、資料の貸出申請を行うことができます。
申請書の手続きはそれぞれ、「入館料免除申請書」、「資料館外貸出許可申請書」に必要事項を記入のうえ、入館・貸出を希望する日の最低1週間前までに申請してください。
※申請は、必ずしも受理されるとは限りませんので、ご了承ください。

■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認められた者。

■主な貸出資料

- 収蔵品 ○ビデオ ○写真



～ あなたの家に、眠っていませんか？ ～

博物館では、宜野湾市を中心としたさまざまな生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集に力を入れています。

特に昭和の資料については、広く募集しております。

随時、資料の収集を行っておりますので、「こんなものがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。

「博物館ガイドブック」について

「博物館ガイドブック」の主な内容は、常設展示室の展示解説、博物館見学と移動展の案内です。

冊数に限りがあるため、市内の学校や自治会、県内の博物館や図書館を中心に配布しております。ご覧になりたい方は、博物館の図書室をご利用ください。



～ 市立博物館にて、証明書の交付を行っています ～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館内に設置された交付の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

★注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。
※火曜日が祝祭日に当たった場合の翌水曜日や、くん蒸などの臨時休館日も、休みになります。
- 2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。
- 3) 上記のとおり、住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明以外は交付できません。

平成17年度の事業あんない

2005年10月～2006年3月

月	日	曜日	内 容	期 間
10	22	土	わらばー体験じゅく「第5回:しっくいシーサーづくり」 ○対象は市内在住の小学5・6年生 / 定員30名 / 来年2月まで	※メンバー募集中! 定員に達し次第、受付終了。保険料徴収
11	19	土	わらばー体験じゅく「第6回:湿地自然観察会」	
11	5	土	見学会「宜野湾市の洞窟めぐり No.5」 講師:新垣 義夫氏 ○対象あり / 定員20名 / 要申し込み(10/8～10/22)	13～17時まで ※詳しくはネットの1ページを参照
12	17	土	わらばー体験じゅく「第7回:ターンムの収穫」	
2	5	日	企画展「宜野湾市の字展(仮称)」	3月上旬までを予定 ※日程は未定 ※入場無料

※日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の

午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで



◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※ 火曜日が祝祭日にあたる場合は翌水曜日は、休館日となります。

◎ 常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上からとなります。

※ 高校・大学生は、学生証の提示をお願いします。

▽現在、博物館では2つのホームページを開設しております。

ホームページ① : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

ホームページ② : <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>